

(様式第10)

岡大病総第138号
平成27年10月 2日

厚生労働大臣

殿

岡山大学病院
病院長 榎野博

岡山大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第の規定に基づき、平成26年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号
氏 名	国立大学法人岡山大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

岡山大学病院

3 所在の場所

〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目5番1号 電話 (086) 223-7151

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 消化器内科 2 神経内科 3 循環器内科 4 5 6 7	
8 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科						(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名						
1 消化管外科	2 肝・胆・膵外科	3 小児外科	4 心臓血管外科	5 形成外科	6	
7	8	9	10	11	12	13 14
診療実績						

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8 産科	9 婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13 放射線診断科	
14 放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名						
1 矯正歯科	2 小児歯科	3 歯科口腔外科	4	5	6	7
歯科の診療体制						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 小児神経科	2 病理診断科	3 リハビリテーション科	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
34床	2床	1床	1床	813床	849床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	294人	382人	579.8人	看護補助者	53人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	100人	161人	195.4人	理学療法士	25人	臨床検査技師	74人
薬 剤 師	71人	0人	71人	作業療法士	7人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助 産 師	26人	2人	27.5人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	983人	30人	1000.7人	臨床工学技師	26人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	18人
歯科衛生士	17人	0人	17人	歯 科 技 工 士	8人	事務職員	374人
管理栄養士	8人	1人	8.8人	診療放射線技師	50人	その他の職員	25人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	29人	眼科専門医	14人
外科専門医	44人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	11人	放射線科専門医	14人
小児科専門医	29人	脳神経外科専門医	11人
皮膚科専門医	6人	整形外科専門医	29人
泌尿器科専門医	12人	麻酔科専門医	25人
産婦人科専門医	16人	救急科専門医	11人
		合 計	264人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	669.8 人	18.3 人	688.1 人
1日当たり平均外来患者数	1,894.8 人	665.7 人	2,560.5 人
1日当たり平均調剤数		1,040.9 剤	
必要医師数		178.4	人
必要歯科医師数		36	人
必要薬剤師数		23	人
必要(准)看護師数		431	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日

で除した数を記入すること。

- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	m ² 1,161.6	鉄筋コンクリート	病床数	60 床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 234.5 m ² [移動式の場合] 台数 - 台		病床数	25 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 40.5 m ² [共用室の場合] 共用する室名 -					
化学検査室	m ² 275	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置, 自動免疫測定装置 他			
細菌検査室	m ² 120	鉄筋コンクリート	(主な設備) 微生物分類同定分析装置, 感受性測定装置, 孵卵器 他			
病理検査室	m ² 349	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動包埋装置, 自動染色装置, 自動免疫染色装置, 光学顕微鏡 他			
病理解剖室	m ² 43	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台, 大型電気ノコ 他			
研究室	m ² 4,806	鉄筋コンクリート	(主な設備) ドラフトチャンバー, クリーンベンチ, 冷蔵庫, 冷凍庫, 中央実験台 他			
講義室	m ² 1,264	鉄筋コンクリート	室数	7 室	収容定員	1,015 人
図書室	m ² 1,938	鉄筋コンクリート	室数	11 室	蔵書数	253,580 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	60.5 %	逆紹介率	61.9 %
算出根拠 A: 紹介患者の数		19,258	人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		20,290	人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		566	人
D: 初診の患者の数		32,760	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	生体部分肺移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肺移植は末期肺疾患に対する有効な治療法である。健康な2人のドナーから肺の一部の提供を受け、レシピエントに移植する。1人目のドナーから右下葉を、2人目のドナーから左下葉を摘出し、それぞれをレシピエントの右肺、左肺として移植する術式である。			
医療技術名	死体肺移植	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 ドナーの片肺、または両肺を、移植を受ける方(レシピエント)の片方または両方の肺と入れ替える方法である。			
医療技術名	生体部分肝移植	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 肝移植は末期肝疾患並びに急性肝不全(劇症肝炎など)に対する有効な治療法であり、当院では豊富な経験をもとに良好な実績を積んでいる。			
医療技術名	死体肝移植	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 脳死のドナーから通常、肝臓全部を採取し、それをレシピエントに移植する方法である。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	70人	・膿疱性乾癬	4人
・多発性硬化症	49人	・広範脊柱管狭窄症	13人
・重症筋無力症	77人	・原発性胆汁性肝硬変	69人
・全身性エリテマトーデス	216人	・重症急性膵炎	8人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	88人
・再生不良性貧血	44人	・混合性結合組織病	19人
・サルコイドーシス	122人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	32人	・特発性間質性肺炎	25人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	152人	・網膜色素変性症	15人
・特発性血小板減少性紫斑病	48人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	66人	・肺動脈性肺高血圧症	26人
・潰瘍性大腸炎	291人	・神経線維腫症	33人
・大動脈炎症候群	24人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	42人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	53人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	107人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	6人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	181人	・球脊髄性筋萎縮症	9人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	20人
・後縦靭帯骨化症	54人	・肥大型心筋症	17人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	2人
・モヤモヤ病(Willis動脈輪閉塞症)	77人	・ミトコンドリア病	9人
・ウェゲナー肉芽腫症	20人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	8人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	78人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	15人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	182人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・歯科外来診療環境体制加算	・病棟薬剤業務実施加算
・歯科診療特別対応連携加算	・データ提出加算
・特定機能病院入院基本料	・救命救急入院料1・4
・臨床研修病院入院診療加算	・特定集中治療室管理料1・3
・救急医療管理加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・超急性期脳卒中加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・妊産婦緊急搬送入院加算	・小児入院医療管理料2
・診療録管理体制加算2	・短期滞在手術等基本料2
・急性期看護補助体制加算	
・看護職員夜間配置加算	
・療養環境加算	
・重症者等療養環境特別加算	
・無菌治療室管理加算1・2	
・緩和ケア診療加算	
・精神科リエゾンチーム加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・がん診療連携拠点病院加算	
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊婦管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・退院調整加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・胎児心エコー法
・高度難聴指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・糖尿病合併症管理料	・皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来緩和ケア管理料	・神経学的検査
・移植後患者指導管理料	・補聴器適合検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・外来放射線照射診療料	・コンタクトレンズ検査料1
・ニコチン依存症管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・地域連携診療計画管理料	・内服・点滴誘発試験
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・センチネルリンパ節生検(併用)・(単独)
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算1
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算2
・認知症専門診断管理料	・歯科画像診断管理加算1
・肝炎インターフェロン診療計画料	・歯科画像診断管理加算2
・薬剤管理指導料	・遠隔画像診断
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・外傷全身CT加算
・持続血糖測定器加算	・心臓MRI撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・無菌製剤処理料
・遺伝カウンセリング加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・植込型心電図検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・がん患者リハビリテーション料	・ペースメーカー移植術・交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・植込型心電図記録計移植術・摘出術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・両心室ペースメーカー移植術・交換術
・一酸化窒素吸入療法	・植込型除細動器移植術・交換術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・CAD/CAM冠	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術・交換術
・歯科技工加算	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・補助人工心臓
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合)	・同種心移植術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植に限る。)	・経皮的動脈遮断術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・ダメージコントロール手術
・脳刺激装置植込術、頭蓋内電極植込術及び脳刺激装置交換術	・体外衝撃波胆石破碎術
・脊髄刺激装置植込術・交換術	・腹腔鏡下肝切除術
・網膜再建術	・生体部分肝移植術
・人工内耳植込術	・同種死体肝移植術
・植込型骨導補聴器移植術・交換術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・体外衝撃波腎・尿路結石破碎術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1・2	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・同種死体腎移植術
・同種死体肺移植術	・生体腎移植術
・生体部分肺移植術	・膀胱水圧拡張術
・経皮的冠動脈形成術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・人工尿道括約筋植込・置換術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	
・輸血管理料 I	
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・内視鏡手術用支援機器加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・手術時歯根面レーザー応用加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	
・テレパソロジーによる術中迅速細胞診	
・病理診断管理加算2	
・口腔病理診断管理加算1	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	
・歯科矯正診断料	
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(1/13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
消化器癌における新規癌関連遺伝子REICの機能解析と臨床応用に関する研究	加藤 博也	消化器内科	千円 1,400	補 委 文部科学省科学研究費補助金
同種造血幹細胞移植後の効率的免疫寛容の誘導法の開発	谷本 光音	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
インターロイキン2と抗PD-L1抗体の併用によるGVHD/GVL分離法の開発	松岡 賢市	血液・腫瘍内科	1,500	補 委 文部科学省科学研究費補助金
EGFR肺癌におけるIL-6のEGFR-TKI耐性への関与と克服に向けた研究	堀田 勝幸	呼吸器・アレルギー内科	2,300	補 委 文部科学省科学研究費補助金
気道炎症における核内受容体RXR選択的パーシャルアゴニストの効果と作用機序の解明	金廣 有彦	呼吸器・アレルギー内科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
EGFR-TKIsと抗EGFR抗体の併用療法に対するペパシマブによる修飾効果	大橋 圭明	呼吸器・アレルギー内科	1,100	補 委 文部科学省科学研究費補助金
Vaspinとその相互作用分子から展開するメタボリック症候群関連創薬	和田 淳	腎臓・糖尿病・内分泌内科	4,500	補 委 文部科学省科学研究費補助金
糖尿病性腎症の糖鎖プロファイリングによる新規バイオマーカーの同定	和田 淳	腎臓・糖尿病・内分泌内科	23,400	補 委 厚生労働科学研究費補助金
松果体メラトニンによる副腎ホルモン合成・分泌への影響とその分子機序の解明	稲垣 兼一	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,100	補 委 文部科学省科学研究費補助金
腹膜透析における腹膜中皮細胞動態からみた腹膜硬化進展機序の解明	喜多村 真治	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,700	補 委 文部科学省科学研究費補助金
メタボリックシンドロームにおける腎障害とVaspinの意義	中司 敦子	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,100	補 委 文部科学省科学研究費補助金
腹部大動脈瘤におけるVasohibinの分子機構の解明	内田 治仁	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
肺動脈狭窄に対するCheatham Platinum (CP)ステント留置の有効性と安全性に関する研究	大月 審一	小児循環器科	100	補 委 日本医師会治験推進研究事業
軟骨低形成症における遺伝子的背景の解明	長谷川 高誠	小児科	500	補 委 財団法人成長科学協会研究助成自由課題研究

小計 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(2 / 13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
小児摂食障害におけるアウトカム尺度の開発に関する研究 - 学校保健における思春期やせの早期発見システムの構築、および発症要因と予後因子の抽出にむけて-	岡田 あゆみ	小児科	100	補 委	厚生労働科学研究費補助金
小児危急・難治疾患の生体応答解析と治療的介入	塚原 宏一	小児科	4,940	補 委	文部科学省科学研究費補助金
H5N1高病原性鳥インフルエンザなどによる重症肺障害の治療薬の開発	塚原 宏一	小児科	1,500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小児重症インフルエンザ(肺炎・脳症)におけるレドックス制御蛋白の役割の解明	八代 将登	小児科	3,900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
血管内皮細胞におけるインフルエンザ重症化宿主因子の検討	八代 将登	小児科	200	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的根拠の集積等に関する研究	藤井 洋輔	小児科	500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
若年性骨髄単球性白血病に対する新規分子標的療法の開発	嶋田 明	小児科	200	補 委	文部科学省科学研究費補助金
卓上型次世代シーケンサーを用いたAMLの迅速かつ安価な予後予測システムの開発	嶋田 明	小児科	1,450	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小児脳腫瘍に対する多施設共同研究による治療開発	嶋田 明	小児科	300	補 委	厚生労働科学研究費補助金
小児白血病におけるバイオマーカーによる早期診断技術の確立と実用化に関する研究	嶋田 明	小児科	2,500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
小児とAYA世代の増殖性血液疾患の診断精度向上と診療ガイドラインの改定のための研究	嶋田 明	小児科	1,500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
小児急性骨髄性白血病(AML)における新規予後因子・再発マーカーの探索	嶋田 明	小児科	1,818	補 委	文部科学省科学研究費補助金
難治性固形癌に対する腫瘍選択的融解ウイルスTelomelysinを用いた放射線併用ウイルス療法の臨床研究	藤原 俊義	消化管外科	65,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
蛍光ウイルス試薬を用いた進行胃癌患者の腹腔内浮遊がん細胞の生物学的悪性度評価に基づく早期再発症例の診断技術の開発	藤原 俊義	消化管外科	29,900	補 委	厚生労働科学研究費委託費

小計 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(3/13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
進行・再発膵癌に対する新規エビトープペプチドカクテル療法と標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第I/II相臨床試験	藤原 俊義	消化管外科	2,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
消化器癌に対する細胞内侵入活性を有する免疫細胞をキャリアとするウイルス療法の開発	藤原 俊義	消化管外科	6,110	補 委 文部科学省科学研究費補助金
上皮間葉転換を生じた血中循環癌細胞の蛍光イメージングによる選択的捕獲と遺伝子解析	藤原 俊義	消化管外科	1,300	補 委 文部科学省科学研究費補助金
小腸不全症の治療法—小腸化大腸の効率的作製のための研究	野田 卓男	小児外科	1,170	補 委 文部科学省科学研究費補助金
転移メカニズムにおける循環血液中がん微小環境の解明と新規癌治療法の開発	白川 靖博	消化管外科	1,170	補 委 文部科学省科学研究費補助金
グレリン投与による高齢者食道癌手術の安全性向上に関するランダム化第2相試験	白川 靖博	消化管外科	900	補 委 厚生労働科学研究費委託費
炎症性微小環境に起因する胃癌の悪性化進展機構の解明と抗悪性化療法の開発	西崎 正彦	消化管外科	1,300	補 委 文部科学省科学研究費補助金
切除可能進行胃癌に対する網嚢切除の意義に関する研究	西崎 正彦	消化管外科	500	補 委 厚生労働科学研究費委託費
DAMP複合体をターゲットとした外科侵襲時の新たな臓器障害制御システムの開発	篠浦 先	肝・胆・膵外科	2,210	補 委 文部科学省科学研究費補助金
がん選択的生物製剤を用いた早期大腸癌の超低侵襲治療の開発	岸本 浩行	消化管外科	1,040	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規薬物療法の開発を含めた進行再発大腸癌の治療戦略構築	榎田 祐三	肝・胆・膵外科	1,300	補 委 文部科学省科学研究費補助金
KRAS/BRAF変異大腸癌に対するマイクロRNAを利用した新規治療法の開発	田澤 大	新医療研究開発センター	1,430	補 委 文部科学省科学研究費補助金
治療抵抗性消化器癌に対する癌関連線維芽細胞を標的とした新規治療法の開発	野間 和広	消化管外科	2,210	補 委 文部科学省科学研究費補助金
消化器癌に対する分子標的免疫治療 Photoimmunotherapy	田邊 俊介	消化管外科	1,560	補 委 文部科学省科学研究費補助金
MicroRNAを用いた新規大腸癌治療戦略の開発	母里 淑子	消化管外科	2,470	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(4/13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤及びオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験ACHIEVE Trial(JFMC47-1202-C3)	永坂 岳司	消化管外科	1,733	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
早期乳癌へのラジオ波熱焼灼療法の有効性の検証と標準化に向けた多施設共同研究	土井原 博義	乳腺・内分泌外科	1,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
EBウイルス感染リンパ球の再活性化が誘発する宿主免疫応答と皮膚病変の解明	岩月 啓氏	皮膚科	1,560	補 委	文部科学省科学研究費補助金
慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患の診療ガイドライン作成と患者レジストリの構築	岩月 啓氏	皮膚科	1,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
診療ガイドラインの普及効果とその効果に関する研究及び同ガイドライン事業の在り方に関する研究	岩月 啓氏	皮膚科	150	補 委	厚生労働科学研究費補助金
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	青山 裕美	皮膚科	1,600	補 委	厚生労働科学研究費補助金
天疱瘡の新規病因シグナル伝達経路の解析	青山 裕美	皮膚科	2,340	補 委	文部科学省科学研究費補助金
表皮角化細胞産生セリンプロテアーゼ阻害因子の発現制御機構の解析	森実 真	皮膚科	2,340	補 委	文部科学省科学研究費補助金
乾癬病変部角化細胞で産生される血清アミロイドA蛋白に関する研究	森実 真	皮膚科	1,000	補 委	日本乾癬学会「鳥居・帝國乾癬研究奨励賞」
石灰化をともなう生活習慣病の病態解明と診断・治療法への応用	公文 裕巳	泌尿器科	1,600	補 委	文部科学省科学研究費補助金
癌抑制遺伝子REIC/Dkk-3による癌化シグナル制御機構の解明	公文 裕巳	泌尿器科	4,700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
去勢抵抗性前立腺がんに対する新規がんペプチドワクチン療法開発のための第Ⅰ相・第Ⅱ相(前半)臨床試験	那須 保友	泌尿器科	1,500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
新規の抗癌免疫活性化タンパク質による革新的前立腺癌治療法の確立	那須 保友	泌尿器科	3,600	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新規の薬剤膜輸送制御機構の解明に基づく抗癌剤耐性克服治療薬の開発のための基盤研究	江原 伸	泌尿器科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(5/13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
尿路平滑筋幹細胞の創出と尿道括約筋再生のための基盤的研究	渡辺 豊彦	泌尿器科	1,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
先進的リアルタイムイメージング法によるクオラムセンシング阻害剤の作用機序の解析	狩山 玲子	泌尿器科	1,300	補 委 文部科学省科学研究費補助金
AMPキナーゼの活性化による網膜色素上皮細胞の老化防止:加齢黄斑変性治療への展開	森實 祐基	眼科	1,820	補 委 文部科学省科学研究費補助金
外眼筋の固有感覚の生理学的包括的研究	濱崎 一郎	眼科	1,560	補 委 文部科学省科学研究費補助金
難聴性聴覚障害に関する調査研究	西崎 和則	耳鼻咽喉科	800	補 委 厚生労働科学研究費補助金
NSAIDs不耐症におけるブレイクスルーを目指した病因・機序の解明、およびNSAIDs誤使用ゼロを目指す具体的対策の実行に関する研究	岡野 光博	耳鼻咽喉科	1,500	補 委 厚生労働科学研究費補助金
重症好酸球性副鼻腔炎に対する新しい治療戦略	岡野 光博	耳鼻咽喉科	700	補 委 厚生労働科学研究費補助金
外科用吸収糸を用いた新型の胸腔鏡下手術用ガイディングマーカーの開発	郷原 英夫	放射線科	650	補 委 文部科学省科学研究費補助金
CT透視下針穿刺用ロボットの開発:術者被曝のない手技へ	平木 隆夫	放射線科	780	補 委 文部科学省科学研究費補助金
血管奇形に対する冷凍療法についてのI/II相臨床研究	藤原 寛康	放射線科	1,170	補 委 文部科学省科学研究費補助金
CT透視下針穿刺用医療ロボットの開発～ロボティックIVRの時代へ～	平木 隆夫	放射線科	19,815	補 委 厚生労働科学研究費補助金
三次元プリンターで難治性疼痛肢を再現したロボットアーム鏡治療の鎮痛効果の検証	佐藤 健治	麻酔科蘇生科	930	補 委 文部科学省科学研究費補助金
硬膜外超音波を用いた脊椎関連疾患の診断治療の探索的研究	石川 慎一	麻酔科蘇生科	256	補 委 文部科学省科学研究費補助金
急性肝不全における新たな早期酸化ストレスマーカーNrf2	清水 裕子	麻酔科蘇生科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
遺伝子多型ペースメーカーチャンネルによる細胞内伝達抑制を用いた慢性痛遺伝子治療	賀来 隆治	麻酔科蘇生科	1,536	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計 15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(6/13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
MEK1阻害薬のくも膜下出血後脳血管攣縮および認知機能障害に対する治療効果の検証	佐々木 俊弘	麻酔科蘇生科	1,170	補 委	文部科学省科学研究費補助金
iPS細胞を用いた急性呼吸窮迫症候群治療への挑戦	林 真雄	麻酔科蘇生科	1,115	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脳表のNADH自家蛍光を用いた脳虚血監視モニターの開発	武田 吉正	麻酔科蘇生科	2,700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
MEKを標的とする化学修飾フラボノイドによる神経障害性痛治療薬の開発	松岡 義和	麻酔科蘇生科	1,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ゲノムインフォマティクスを応用した難治性慢性痛における中枢機能の客観的評価	西江 宏行	麻酔科蘇生科	678	補 委	文部科学省科学研究費補助金
肝移植周術期における酸化ストレスの役割	松崎 孝	麻酔科蘇生科	776	補 委	文部科学省科学研究費補助金
小児心臓手術患者における心臓バイオマーカーと患者予後の関係の検討	金澤 伴幸	麻酔科蘇生科	438	補 委	文部科学省科学研究費補助金
中枢神経系疾患に対する細胞移植の臨床応用の扉を開く:カプセル化と電気刺激を用いて	伊達 勲	脳神経外科	4,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Bevacizumab誘導性脳腫瘍浸潤に対する新規治療法の開発	伊達 勲	脳神経外科	900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Gliomaの新規予後因子CYR61及びMGMTに関する分子生物学的検討	杉生 憲志	脳神経外科	1,600	補 委	文部科学省科学研究費補助金
悪性グリオーマにおける血管新生-浸潤シフトの分子生物学的機構の解明	市川 智継	脳神経外科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新規OVと分子標的薬の併用療法	黒住 和彦	脳神経外科	1,400	補 委	文部科学省科学研究費補助金
電気刺激は移植細胞の遊走能を高めるか?:メカニズムに迫り、臨床応用への道を探る	安原 隆雄	脳神経外科	1,100	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脳動脈瘤破裂くも膜下出血後急性期における拡張性抑制の影響に関する検討	菱川 朋人	脳神経外科	1,500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脳深部刺激療法(DBS)でうつ病は治るのか?	亀田 雅博	脳神経外科	800	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計 15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(7/13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
SCSの抗てんかん作用	近藤 聡彦	脳神経外科	739	補 委 文部科学省科学研究費補助金
特発性正常圧水頭症の病因、診断と治療に関する研究	伊達 勲	脳神経外科	500	補 委 厚生労働科学研究費補助金
造影剤の経静脈投与によるcone-beam CT撮影の有用性に関する検討	菱川 朋人	脳神経外科	500	補 委 特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会
電気刺激療法を用いた中枢神経疾患に対する治療戦略 — 脳梗塞、パーキンソン病、うつ病への応用を目指して	亀田 雅博	脳神経外科	1,000	補 委 公益財団法人かなえ医薬振興財団
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第III相臨床研究	伊達 勲	脳神経外科	1,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金
治験の実施に関する研究[ONYX]	杉生 憲志	脳神経外科	1,000	補 委 日本医師会治験推進研究事業補助金
軸索伸長関連因子発現制御による新しい脳保護療法と神経再生医療に関する研究	出口 健太郎	神経内科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脳梗塞におけるアストロサイトに注目した脳血管・脳組織保護・再生療法の新規開発に関する研究	出口 健太郎	神経内科	1,000	補 委 先進医薬研究振興財団
iNS細胞を用いた新規脳梗塞治療法の開発に関する研究	山下 徹	神経内科	1,000	補 委 先進医薬研究振興財団
希少難治性てんかんのレジストリ構築による総合的研究	小林 勝弘	小児神経科	400	補 委 厚生労働科学研究補助金
てんかんに対する総合的な医療の提供体制整備に関する研究	小林 勝弘	小児神経科	350	補 委 厚生労働科学研究委託費
脳形成異常をとる発達期脳障害の病因・病態と治療に関する研究	小林 勝弘	小児神経科	1,000	補 委 精神・神経疾患研究委託費
プリオン病および遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	吉永 治美	小児神経科	300	補 委 厚生労働科学研究費補助金
遺伝性不整脈疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成に関する研究	森田 宏	循環器内科	1,000	補 委 厚生労働科学研究補助金
腹部大動脈瘤におけるCD44の分子病態制御機構の解明と新たな治療法の基礎確立	三好 亨	循環器内科	1,100	補 委 文部科学省科学研究補助金

小計 15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(8 / 13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
J波症候群の病態と遺伝基盤の解明および治療法の確立	永瀬 聡	循環器内科	1,500	補 委 文部科学省科学研究補助金
加算微分fQRSを用いた新しい心臓突然死リスク予測法	森田 宏	循環器内科	900	補 委 文部科学省科学研究補助金
心房中隔欠損症に合併した心房細動における不整脈基質の解明及び包括的治療戦略の確立	中川 晃志	循環器内科	1,600	補 委 文部科学省科学研究補助金
成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究	赤木 禎治	循環器疾患集中治療部	300	補 委 厚生労働科学研究補助金
超軟質精密心臓レプリカの作成による心臓外科手術トレーニングと個別化医療の確立に向けた研究	佐野 俊二	心臓血管外科	400	補 委 厚生労働科学研究補助金
ヒト人工心筋細胞の純化精製と機能的心臓の三次元再構築	王 英正	新医療研究開発センター	1,400	補 委 文部科学省科学研究費補助金
メカノメディスン:メカノ医工学を駆使した再生医療・生殖医療への展開	王 英正	新医療研究開発センター	2,250	補 委 文部科学省科学研究費補助金
小児心不全に対するヒト幹細胞移植による先進医療の実用化加速に向けた第2相臨床研究	王 英正	新医療研究開発センター	4,000	補 委 厚生労働科学研究補助金
マウスリンパ浮腫モデルに対する培養リンパ管内皮細胞移植の有用性に関する研究	木股 敬裕	形成外科	1,100	補 委 文部科学省科学研究費補助金
同性間生殖臓器移植における細胞導入の解析	難波 祐三郎	ジェンダーセンター	800	補 委 文部科学省科学研究費補助金
MDCTを用いた間質リンパ管造影による四肢リンパ管のイメージング	山田 潔	形成外科	900	補 委 文部科学省科学研究費補助金
リンパ浮腫に対する埋込型ポンプを用いたリンパ管-腹腔シャントの有効性に関する研究	杉山 成史	形成外科	1,400	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新しい自己集合性ペプチドゲルを用いた3次元全層皮膚ストレッチ培養に関する研究	徳山 英二郎	形成外科	900	補 委 文部科学省科学研究費補助金
骨内微小環境を再現した新規顔面骨組織再建法の確立	渡部 聡子	形成外科	900	補 委 文部科学省科学研究費補助金
コラーゲン結合型VEGF-Cによる効果的なリンパ管新生の研究	松本 洋	形成外科	2,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計 15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(9/13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ICGを用いた蛍光リンパ管造影法によるリンパ浮腫の標準的機能評価の確立	松本 久美子	形成外科	2,500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
BMPネットワークにより形成される卵胞機能制御の新たなパラダイムの解明	大塚 文男	総合内科	800	補 委	文部科学省科学研究費補助金
網羅的なゲノム解析によるテラーメイド腫瘍抗原の同定	近藤 英生	総合内科	1,800	補 委	文部科学省科学研究費補助金
一次繊毛機能を介したACAM/CLMPの脂肪細胞分化と肥満症における意義	村上 和敏	総合内科	1,700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
肺気腫におけるRAGEの役割の検討	早稲田 公一	総合内科	700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
FRET法を利用した新規不安定プラーク特異的動脈硬化診断法の開発	小川 弘子	総合内科	1,900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
生殖内分泌調節におけるGH/IGF-I系の役割とBMPの関与	中村 絵里	総合内科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新型成人用HFO人工呼吸器の開発及びARDS患者向けHFO呼吸管理プロトコルの開発	市場 晋吾	救急科	1,568	補 委	公益財団法人埼玉県産業振興公社
人工筋肉を用いた痙性指拘縮に対する受動可動域訓練装置の実用化に関する研究	千田 益生	総合リハビリテーション部	110	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯質表面損失症候群の診断法の確立と接着技法を応用した治療法の開発	吉山 昌宏	むし歯科	890	補 委	文部科学省科学研究費補助金
象牙質内因性マトリックスメタロプロテアーゼ活性を抑制する接着修復法の開発	西谷 佳浩	むし歯科	1,100	補 委	文部科学省科学研究費補助金
低出力超音波パルスとBMPを用いた硬組織形成に年齢が及ぼす影響の解明	山路 公造	むし歯科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新規根面う蝕治療法の基盤となるう蝕原性細菌の動態解析	大原 直子	むし歯科	800	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト骨髄間葉系幹細胞を用いた全能性・胚性幹細胞の誘導に関する研究	伊澤 俊次	むし歯科	724	補 委	文部科学省科学研究費補助金
細菌付着抑制効果のある新規象牙質知覚過敏抑制材の開発	高橋 圭	むし歯科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計 15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(10 / 13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
開口した象牙細管の封鎖機序の解析ならびに象牙質接着システムの接着向上に関する研究	田中 久美子	むし歯科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ハイドロキシアパタイトを配合した新規接着剤の研究	星加 知宏	むし歯科	1,200	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ペプチド核酸による歯周病原細菌除去療法の確立	前田 博史	歯周科	413	補 委	文部科学省科学研究費補助金
インテグリンの活性制御による歯周組織幹細胞の遊走促進:分子リガンド創薬への展開	山本 直史	歯周科	1,150	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯周病細菌に対する血中抗体価検査のインプラント周囲炎発症予知の有用性に関する検討	工藤値 英子	歯周科	255	補 委	文部科学省科学研究費補助金
根尖性歯周炎に対するIL-1 α /ラミニンを用いた新規治療法の開発	大森 一弘	歯周科	900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
TGF- β とナノDDS技術を応用した次世代の歯周組織再生療法の開発	下江 正幸	歯周科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
岡山県産の原料を活かした新規機能性食品および口腔ケア製品の開発	高柴 正悟	歯周科	2,727	補 委	岡山県特別電源所在県科学技術振興事業
辺縁性歯周炎を対象としたKCB-1Dのエムドゲインゲルとの比較試験(第Ⅲ相)	高柴 正悟	歯周科	4,440	補 委	科研製薬
BMP-2の環境選択的な骨誘導/抑制メカニズムの解明および適応症の探索	縄稚 久美子	クラウンブリッジ補綴科	1,400	補 委	文部科学省科学研究費補助金
高頻度睡眠時ブラキシズム患者は、睡眠時高血圧による心臓血管系リスクを有するか	水口 一	クラウンブリッジ補綴科	2,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
次世代器官再生医療のための基盤技術の開発	窪木 拓男	クラウンブリッジ補綴科	800	補 委	文部科学省科学研究費補助金
次世代器官再生医療のための基盤技術の開発	大島 正充	クラウンブリッジ補綴科	1,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯科介入型の新たな口腔管理法の開発及び介入効果の検証等に関する研究	窪木 拓男	クラウンブリッジ補綴科	250	補 委	厚生労働省科学研究費補助金
高齢者の口腔機能の維持・向上法に関する研究	窪木 拓男	クラウンブリッジ補綴科	600	補 委	厚生労働省長寿医療研究開発費

小計 15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(11 / 13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新たなプログラミング法による組織幹細胞作製技術の開発	窪木 拓男	クラウンブリッジ補綴科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
歯胚移植医療の発展に向けた革新的歯胚分割技術の確立	大島 正充	クラウンブリッジ補綴科	50	補 委 文部科学省科学研究費補助金
歯胚発生プログラムの解明・応用に基づく歯の再生技術の開発	窪木 拓男	クラウンブリッジ補綴科	15,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ホスト幹細胞集積による新規組織再生療法の開発	秋山 謙太郎	クラウンブリッジ補綴科	11,900	補 委 文部科学省科学研究費補助金
難治性神経疾患の新規治療法開発-歯髄由来幹細胞の新たな生物学的機能	秋山 謙太郎	クラウンブリッジ補綴科	900	補 委 文部科学省科学研究費補助金
次世代シーケンサーによるインプラント周囲細菌叢の網羅的解析と個別化抗菌療法開発	大野 彩	クラウンブリッジ補綴科	1,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞ニッチという観点から見た歯槽骨創傷治癒メカニズムの解明	大野 充昭	クラウンブリッジ補綴科	2,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ニューロモジュレーターであるセロトニン動態から見た睡眠時ブラキシズム発症機序解明	水口 一	クラウンブリッジ補綴科	2,300	補 委 文部科学省科学研究費補助金
歯胚発生におけるHox遺伝子の発現パターンと機能解析	新川 重彦	クラウンブリッジ補綴科	1,100	補 委 文部科学省科学研究費補助金
インプラント周囲炎の生物学的病態解明と予防的診断プロトコルの開発	三野 卓哉	クラウンブリッジ補綴科	1,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
日間変動に着目した睡眠時ブラキシズム発症とセロトニン神経活動	三木 春奈	クラウンブリッジ補綴科	1,100	補 委 文部科学省科学研究費補助金
付着歯肉に特異的に発現する遺伝子、蛋白の同定とその機能解析	熊崎 明日香	クラウンブリッジ補綴科	1,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
顎関節症における筋筋膜疼痛の発症機序を微弱筋活動の長時間計測から解明する	皆木 省吾	咬合・義歯補綴科	2,600	補 委 文部科学省科学研究費補助金
要介護高齢者の食形態診断をアシストできる咀嚼能力評価法の確立	皆木 省吾	咬合・義歯補綴科	1,040	補 委 文部科学省科学研究費補助金
咬合支持の喪失ならびにその回復と記憶学習との関連について-酸化ストレスの影響-	原 哲也	咬合・義歯補綴科	1,300	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計 15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(12 / 13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
皮膚の動きに追従するエピテーゼ用樹脂の開発	西川 悟郎	咬合・義歯補綴科	1,560	補 委	文部科学省科学研究費補助金
信号検出理論による歯根膜感覚の内的感覚決定プロセスに関する研究	沖 和広	咬合・義歯補綴科	650	補 委	文部科学省科学研究費補助金
EphA4の未知なるリガンドの解明と臨床応用への可能性の追及	伊志嶺 知沙	咬合・義歯補綴科	1,430	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔乾燥症の新たな治療法確立に向けた唾液分泌中枢制御機構の解明	前田 直人	咬合・義歯補綴科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
微弱かつ持続的な筋活動がインプラント治療患者に及ぼす影響についての検討	川上 滋央	咬合・義歯補綴科	2,210	補 委	文部科学省科学研究費補助金
癌の骨破壊病変に対する新規angiogenin阻害剤による分子標的治療の開発	佐々木 朗	口腔外科(病態系)	6,500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Angiogeninを標的とした新規癌治療薬neamineの口腔癌治療への応用	岸本 晃治	口腔外科(病態系)	1,560	補 委	文部科学省科学研究費補助金
CCR4分子標的治療薬の頭頸部癌での抗腫瘍効果	銅前 昇平	口腔外科(病態系)	2,210	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ニコチンのEGFR発現促進作用が口腔癌のリンパ節転移に果たす役割	伊原木 聡一郎	口腔外科(病態系)	1,560	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌顎骨破壊病変におけるSHHを標的とした新規治療法の開発と個別化医療への応用	志茂 剛	口腔外科(病態系)	8,060	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新規抗癌剤KNK437による、抗腫瘍転移効果についての分子イメージング的解析研究	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科	5,070	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌のBRAF変異スクリーニングに基づくセツキシマブ・BRAF阻害療法の開発	此内 浩信	歯科放射線・口腔診断科	4,810	補 委	文部科学省科学研究費補助金
BCGと抗癌剤併用療法による抗腫瘍転移効果についての分子イメージング解析研究	柳 文修	歯科放射線・口腔診断科	5,200	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌に対するBCGを用いた新規抗癌剤併用療法の開発	村上 純	歯科放射線・口腔診断科	4,420	補 委	文部科学省科学研究費補助金
BCG (Bacillus Calmette-Guerin) 生菌と5-FU併用療法による口腔癌遠隔転移ならびに局所再発阻害作用に関する、分子イメージング的解析	村上 純	歯科放射線・口腔診断科	1,500	補 委	文部科学省特別経費事業

小計 15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(13 / 13)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
経口投与用ミダゾラム封入ステルス型ナノ薬物キャリアの開発	宮脇 卓也	歯科麻酔科	1,560	補 委 文部科学省特別経費事業
レミフェンタニルの抗炎症作用について	前田 茂	歯科麻酔科	1,820	補 委 文部科学省特別経費事業
未知のタンパク質TMEMがシナプス小胞の機能制御に果たす役割の検討	樋口 仁	歯科麻酔科	2,340	補 委 文部科学省特別経費事業
常用薬が静脈麻酔薬プロポフォール の薬物動態および臨床効果に及ぼす影響	丸濱 美菜子	歯科麻酔科	1,040	補 委 文部科学省特別経費事業
犬歯周病原性細菌のヒトへの伝播による 歯周病発生におけるメカニズムの解析	山崎 由衛	小児歯科	2,900	補 委 文部科学省科学研究費補助金
リコンビナーゼAを用いたリプレースメント セラピーによる新規齲蝕抑制法の開発	仲野 道代	小児歯科	1,430	補 委 文部科学省科学研究費補助金
バイオインフォマティクス的手法によるS. mutansの機能ドメイン探索法の確立	高島 由紀子	小児歯科	1,690	補 委 文部科学省科学研究費補助金
障害者の生涯にわたる口腔のQOL向上 を目的とした地域連携クリニカル・パス運 用	江草 正彦	スペシャルニーズ歯 科センター	2,730	補 委 文部科学省科学研究費補助金
障害者における口腔状態、口腔機能お よび生活習慣と骨密度との関連に関する 臨床的研究	森 貴幸	スペシャルニーズ歯 科センター	4,680	補 委 文部科学省科学研究費補助金
嚥下時における咽頭部の超音波検査方 法の開発	村田 尚道	スペシャルニーズ歯 科センター	3,200	補 委 文部科学省科学研究費補助金
根尖性歯周炎等の口腔内感染巣に由来する「 菌性好中球減少性発熱」の概念の確立	曾我 賢彦	医療支援歯科治療 部	1,690	補 委 文部科学省科学研究費補助金
周術期における効率的な口腔機能管理 の検討	山中 玲子	医療支援歯科治療 部	780	補 委 文部科学省科学研究費補助金
				補 委

小計 12件

合計 189件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(1 / 11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Kato Y	Department of Respiratory Medicine	Factor associated with failure to administer subsequent treatment after progression in the first-line chemotherapy in EGFR-mutant non-small cell lung cancer; Okayama Lung Cancer Study Group experience.	Cancer Chemother Pha Rmacol.2014 May;73 (5):943-50.
2	Minami D	Department of Respiratory Medicine	Rapid, on-site evaluation with BIOEVALUATOR(®) during endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration for diagnosing pulmonary and mediastinal diseases.	Ann Thorac Med.2014 Jan;9(1):14-7.
3	Kitamura S	Department of Medicine and Clinical Science	Adult Kidney Stem/Progenitor Cells Reconstitute 3-Dimensional Nephron Structures in Vitro.	Stem Cells. 2015 Mar;33(3):774-84.
4	Kitamura S	Department of Medicine and Clinical Science	The selection of peritoneal mesothelial cells is important for cell therapy to prevent peritoneal fibrosis.	Tissue Eng Part A. 2014 Feb;20(3-4):529-39.
5	Sada KE	Department of Medicine and Clinical Science	Classification and characteristics of Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis in a nationwide, prospective, inception cohort study.	Arthritis Res Ther. 2014 Apr 23;16(2):R101.
6	Nakamura E	Department of Medicine and Clinical Science	Melatonin counteracts BMP-6 regulation of steroidogenesis by rat granulosa cells.	J Steroid Biochem Mol Biol. 2014 Sep;143:233-9.
7	Hosoya T	Department of Medicine and Clinical Science	Regulatory role of BMP-9 in steroidogenesis by rat ovarian granulosa cells.	J Steroid Biochem Mol Biol. 2015 Mar;147:85-91.
8	Tachibana H	Department of Medicine and Clinical Science and Diabetic Nephropathy	Metallothionein deficiency exacerbates diabetic nephropathy in streptozotocin-induced diabetic mice.	Am J Physiol Renal Physiol. 2014 Jan 1;306(1):F105-15.
9	Watanabe M	Department of Medicine and Clinical Science and Diabetic Nephropathy	Pemt deficiency ameliorates endoplasmic reticulum stress in diabetic nephropathy.	PLoS One. 2014 Mar 25;9(3):e92647
10	Kodera R	Center for Innovative Clinical Medicine	Dipeptidyl peptidase-4 inhibitor ameliorates early renal injury through its anti-inflammatory action in a rat model of type 1 diabetes.	Biochem Biophys Res Commun. 2014 Jan 17;443(3):828-33
11	Hasegawa K	Department of Pediatrics	Children with short-limbed short stature in pediatric endocrinological services in Japan.	Pediatr Int.2014 Dec;56 (6):809-12.
12	Hasegawa K	Department of Pediatrics	Japanese familial case with metaphyseal dysplasia, Schmid Type caused by the p.T555P mutation in the COL10A1 gene	Clin Pediatr Endocrinol. 2015 Jan;24(1):33-6.
13	Hasegawa K	Department of Pediatrics	Children with short-limbed short stature in pediatric endocrinological services in Japan.	Pediatr Int. 2014; 56(6):809-12.

小計 13件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(2 / 11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
14	Tsuge M	Department of Pediatrics	Gene expression analysis in children with complex seizures due to influenza A(H1N1)pdm09 or rotavirus gastroenteritis	J Neurovirol 2014; 20(1): 73-84.
15	Tsukahara H	Department of Pediatrics	Oxidative stress biomarkers in pediatric medicine: A 2013 update	Systems Biology of Free Radicals and Anti-oxidants”, ed. Laher I, pp. 689-716, Springer, vol. 1, Berlin, Germany, 2014.
16	Tsukahara H	Department of Pediatrics	Oxidative stress biomarkers: Current status and future perspective	Oxidative Stress in Applied Basic Research and Clinical Practice – Pediatric Disorders, ed. Tsukahara H, Kaneko K Springer, Berlin, Germany, 2014; 87-113
17	Yashiro M	Department of Pediatrics	Thioredoxin therapy: Challenges in translational research	Oxidative Stress in Applied Basic Research and Clinical Practice – Pediatric Disorders, ed. Tsukahara H, Kaneko K Springer, Berlin, Germany, 2014; 233-252.
18	Tsukahara H	Department of Pediatrics	Infectious and inflammatory disorders	Oxidative Stress in Applied Basic Research and Clinical Practice – Pediatric Disorders”, ed. Tsukahara H, Kaneko K”, Springer, Berlin, Germany, 2014; 371-386.
19	Kikuchi S	Department of Gastroenterological Surgery	Biological Ablation of Sentinel Lymph Node Metastasis in Submucosally Invaded Early Gastrointestinal Cancer	Mol Ther, 23(3):501-9, 2014
20	Kuise T	Department of Gastroenterological Surgery	Establishment of a pancreatic stem cell line from fibroblast-derived induced pluripotent stem cells	BioMedical Engineering OnLine, 13: 64, 2014

小計 7件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(3 / 11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
21	Shirakawa Y	Department of Gastroenterological Surgery	Assistant-based standardization of prone position thoracoscopic esophagectomy	Acta Medica Okayama,68(2):111-7, 2014
22	Inada R	Department of Gastroenterological Surgery	Laparoscopic resection of synchronous colorectal cancers in separate specimens	Asian J Endosc Surg, 7(3):227-31, 2014
23	Utsumi M	Department of Gastroenterological Surgery	Frequency of regulatory T-cell and hepatitis C viral antigen-specific immune response in recurrent hepatitis C after liver transplantation	Transplant Immunology, 31(1):33-41, 2014
24	Kagawa S	Department of Gastroenterological Surgery	Molecular diagnosis and therapy for occult peritoneal metastasis in gastric cancer patients	World J Gastroenterol, 20(47):17796-803, 2014
25	Utsumi M	Department of Gastroenterological Surgery	Risk factors of morbidity and predictors of long-term survival after hepatopancreatoduodenectomy for biliary cancer	Hepatogastroenterology, 61(136):2167-72, 2014
26	Utsumi M	Department of Gastroenterological Surgery	Correlation between Computed Tomography Imaging Features and Pathological Features of 41 Patients with Pancreatic Neuroendocrine tumors	Hepatogastroenterology, 62(138):441-6, 2015
27	Mori Y	Department of Gastroenterological Surgery	The rare BRAF VK600-601E mutation as a possible indicator of poor prognosis in rectal carcinoma - a report of a case	BMC Med Genet, 31;16:1, 2014
28	Shirakawa Y	Department of Gastroenterological Surgery	Prone-position thoracoscopic resection of posterior mediastinal lymph node metastasis from rectal cancer	World J Surg Oncol, 12;13:45, 2015
29	Takiguchi T	Department of Dermatology	Cathelicidin antimicrobial peptide LL-37 augments interferon- β expression and antiviral activity induced by double-stranded RNA in keratinocytes.	Br J Dermatol, 171(3):492-8, 2014
30	Mizuno-Ikeda K	Department of Dermatology	Folliculotropic mycosis fungoides with extreme pilosebaceous involvement and hematological abnormalities.	Eur J Dermatol 24 (1):135-6, 2014
31	Iwatsuki K	Departments of Dermatology	Current therapy of choice for cutaneous lymphomas: Complementary to the Japanese Dermatological Association/Japanese Skin Cancer Society guidelines.	J Dermatol 41 (1): 43-9, 2014
32	Hamada T	Department of Dermatology	Epstein-Barr virus-associated T/natural killer-cell lymphomas in the elderly: the first consensus meeting in Kofu 2013.	J Dermatol 41 (1): 40-2, 2014
33	Hamada T	Department of Dermatology	Cutaneous lymphoma in Japan: a nationwide study of 1733 patients.	J Dermatol 41 (1): 3-10, 2014
34	Miyake T	Department of Dermatology	Survival rates and prognostic factors of Epstein-Barr virus-associated hydroa vacciniforme and hypersensitivity to mosquito bites.	Br J Dermatol 172 (1): 56-63, 2015

小計 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(4 / 11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
35	Watanabe M	Center for Innovative Clinical Medicine	Adenovirus-mediated REIC/Dkk-3 gene therapy: development of an autologous cancer vaccination therapy	Oncology Letters,7:595-601,2014
36	Watanabe M	Center for Innovative Clinical Medicine	A novel gene expression system strongly enhances the anticancer effects of a REIC/Dkk-3-encoding adenoviral vector	Oncology Reports,31:1089-95,2014
37	Araki M	Department of Urology	Robot-Assisted Radical Prostatectomy:Modified Ultradissection Reduces pT2 Positive Surgical Margins on the Bladder Neck	Acta Med Okayama,68:35-41,2014
38	Kumon H	Department of Urology	Ectopic calcification: importance of common nanoparticle scaffolds containing oxidized acidic lipids	Nanomedicine,10:441-450,2014
39	Morizane Y	Department of Ophthalmology	Autologous Transplantation of the Internal Limiting Membrane for Refractory Macular Holes.	American Journal of Ophthalmology,157(4):861-869
40	Hosokawa M	Department of Ophthalmology	Six-month results of intravitreal aflibercept injections for patients with polypoidal choroidal vasculopathy.	British Journal of Ophthalmology,99(8):1087-91
41	Shiode Y	Department of Ophthalmology	COMPARISON OF HALVING THE IRRADIATION TIME OR THE VERTEPORFIN CHORIORETINOPATHY.	Retina, [Epub ahead of print]
42	Kariya S	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery	Pulmonary function in patients with chronic rhinosinusitis and-allergic rhinitis. The Journal of Laryngology and Otology	The Journal of Laryngology and Otology 128(3):255-62
43	Okano M	Department of Otolaryngology-Head & Neck Surgery	Cellular responses to Staphylococcus aureus alpha-toxin in chronic rhinosinusitis with nasal polyps. Allergy International	Allergy International 63(4):563-73
44	Okano M	Department of Otolaryngology-Head & Neck Surgery	Staphylococcal protein A-formulated immune complexes suppress enterotoxin-induced cellular responses in nasal polyps.	Journal of Allergy and Clinical Immunology 136(2):343-350.e8
45	Hiraki T	Department of Radiology	Creation of an artificial hydromediastinum for radiofrequency ablation of lung tumor: a report of two cases.	Journal of Vascular and Interventional Radiology.25(11) : 1834-1837
46	Matsui Y	Department of Radiology	Percutaneous radiofrequency ablation for pulmonary metastases from esophageal cancer: retrospective evaluation of 21 patients.	J Vasc Interv Radiol.25(10):1566-1572
47	Hiraki T	Department of Radiology	Radiofrequency ablation for early-stage nonsmall cell lung cancer.	Biomed Res Int.:152087

小計 13件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(5 / 11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
48	Iguchi T	Department of Radiology	Percutaneous Radiofrequency Ablation of Lung Cancer Presenting as Ground-Glass Opacity.	Cardiovasc Intervent Radiol.38(2):409-15
49	Makimoto S	Department of Radiology	Association between reperfusion and shrinkage percentage of the aneurysmal sac after embolization of pulmonary arteriovenous malformation: evaluation based on contrast-enhanced thin-section CT images.	Jpn J Radiol.32(5):266-273
50	Iguchi T	Department of Radiology	Radiofrequency Ablation of Lung Metastases from Adenoid Cystic Carcinoma of the Head and Neck: Retrospective Evaluation of Nine Patients.	J Vasc Interv Radiol.26(5):703-8
51	Yoshitaka S	Department of Anesthesiology and Resuscitology	The association of plasma gamma-aminobutyric acid concentration with postoperative delirium in critically ill patients.	Crit Care Resusc.2014;16(4):269-273
52	Takeda Y	Department of Anesthesiology	Feasibility study of immediate pharyngeal cooling initiation in cardiac arrest patients after arrival at the emergency room.	Resuscitation.2014;85(12):1647-1653
53	Nishie H	Department of Anesthesiology and Resuscitology	Living will interest and preferred end-of-life care and death locations among japanese adults 50 and over: A population-based survey.	Acta medica Okayama.2014;68(6):339-348
54	Ichikawa T	Department of Neurological Surgery	Reduced neurotoxicity with sombined treatment of high-dose methotrexate, cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine and prednisolone (M-CHOP) and deferred radiotherapy for primary central nervous system lymphoma.	Clinical Neurology and Neurosurgery 127:106-111, 2014
55	Hishikawa T	Department of Neurological Surgery	Nationwide survey of the nature and risk factors of complications in embolization of meningiomas and other intracranial tumors: Japanese Registry of NeuroEndovascular Therapy 2 (JR-NET2).	Neuroradiology 56(2):139-144, 2014
56	Hishikawa T	Department of Neurological Surgery	Long-term outcomes in adult patients with ischemic-type moyamoya disease involving posterior circulation.	Acta Neurochirurgica (Wien) 156:1745-1751, 2014
57	Yasuhara T	Department of Neurological Surgery	Infectious spondylitis: Characteristics of geriatric patients and significance of surgery.	J Spine Neurosurg 3: 2, 2014
58	Hishikawa T	Department of Neurological Surgery	Cerebral vasospasm in patients over 80 years treated by coil embolization for ruptured cerebral aneurysms.	BioMed Research International 2014: 253867, 2014
59	Shinko A	Department of Neurological Surgery	Spinal cord stimulation exerts neuroprotective effects against experimental Parkinson's disease	PLoS One. 2014 Jul 10;9(7):e101468

小計 12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(6 / 11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
60	Yamashita T	Department of Neurology	Direct reprogrammed neuronal cells as a novel resource for cell transplantation therapy	Cell Transplant. 23:435-439,2014
61	Yoshinaga H	Department of Child Neurology	Manifestation of both emetic seizures and sylvian seizures in the same patients with benign partial epilepsy.	Brain Dev. 37(1): 13-17, 2015
62	Kobayashi K	Department of Child Neurology	A storm of fast (40-150 Hz) oscillations during hypsarrhythmia in West syndrome.	Ann Neurol. 77(1): 58-67, 2015
63	Kobayashi K	Department of Child Neurology	Action potentials contribute to epileptic high-frequency oscillations recorded with electrodes remote from neurons.	Clin Neurophysiol. 126(5): 873-881, 2015
64	Kobayashi K	Department of Child Neurology	Trend figures assist with untrained emergency electroencephalogram interpretation	Brain Dev 37(5):487-494, 2015
65	Kobayashi K	Department of Child Neurology	Poor toddler-age sleep schedules predict school-age behavioral disorders in a longitudinal survey	Brain Dev 37(6):572-578, 2015
66	Akiyama T	Department of Child Neurology	CSF/plasma ratios of amino acids: reference data and transports in children.	Brain Dev. 36(1): 3-9, 2014.
67	Akiyama T	Department of Child Neurology	A Japanese adult case of guanidinoacetate methyltransferase deficiency	JIMD Rep. 12: 65-69, 2014
68	Akiyama M	Department of Child Neurology	Five pediatric cases of ictal fear with variable outcomes	Brain Dev. 36(9): 758-763, 2014
69	Toru Miyoshi	Department of Cardiovascular Therapeutics	Low serum level of secreted frizzled-related protein 5, an anti-inflammatory adipokine, is associated with coronary artery disease	Atherosclerosis. 2014 Apr;233(2):454-9.
70	Toru Miyoshi	Department of Cardiovascular Medicine	Omega-3 fatty acids improve postprandial lipemia and associated endothelial dysfunction in healthy individuals - a randomized cross-over trial.	Biomed Pharmacother. 2014 Oct;68(8):1071-7.
71	Tarui S	Department of Cardiovascular Surgery	Stem cell therapies in patients with single ventricle physiology	Methodist Debaquey Cardiovascular Journal.10:77-81, 2014
72	Kobayashi J	Department of Cardiovascular Surgery	Directed differentiation of patient-specific induced pluripotent stem cells identifies the transcriptional repression and epigenetic modification of NKX2-5, HAND1, and NOTCH1 in hypoplastic left heart syndrome	PLOS ONE.9: e102796, 2014

小計 13件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(7/11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
73	Sano S	Department of Cardiovascular Surgery	Repair of Ebstein's anomaly in neonates and small infants: impact of right ventricular exclusion and its indications	Eur J Cardiothorac Surg.45:549-55, 2014
74	Ishigami S	Departments of Cardiovascular Surgery	Intracoronary Autologous Cardiac Progenitor Cell Transfer in Patients with Hypoplastic Left Heart Syndrome: The TICAP Prospective Phase 1 Controlled Trial	Circ Res.116:653-664, 2015
75	Kobayashi J	Departments of Cardiovascular Surgery	Epigenetic modification in congenital heart diseases by using stem cell technologies	Stem Cell Epigenetics
76	Hasegawa K	Department of Plastic and Reconstructive Surgery	Phalloplasty with an innervated island pedicled anterolateral thigh flap in a female-to-male transsexual.	Acta Med Okayama.2014;68(3):183-90.
77	Komatsu S	Department of Plastic and Reconstructive Surgery	The neutral self-assembling peptide hydrogel SPG-178 as a topical hemostatic agent.	PLoS One.2014 Jul 21;9(7):e102778.
78	Onoda S	Department of Plastic and Reconstructive Surgery	The drop-down technique as an optimal technique for back-wall end-to-side anastomosis.	J Craniofac Surg.2014 Jul;25(4):1435-7.
79	Onoda S	Department of Plastic and Reconstructive Surgery	Effects of radiation therapy on postoperative complications and adverse events in patients with head and neck reconstruction with flaps.	Microsurgery.2014 Oct;34(7):516-21.
80	Onoda S	Department of Plastic and Reconstructive Surgery	Secondary head and neck reconstruction using free flap to improve the postoperative function or appearance of cancer survivors.	Microsurgery. 2014 Feb;34(2):122-8.
81	Onoda S	Department of Plastic and Reconstructive Surgery	Minimally invasive multiple lymphaticovenular anastomosis at the ankle for the prevention of lower leg lymphedema.	Microsurgery. 2014 Jul;34(5):372-6.
82	Matsumoto H	Department of Plastic and Reconstructive Surgery	Plotting dermal sutures: an easy dermal suture technique.	PRS Global Open. 2014 Mar 6;2(2):e108.
83	Hagiya H	Department of General Medicine	Comprehensive analysis of systemically disseminated ST8/non-USA300 type community-acquired methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection	Intern Med,53: 907-912,2014
84	Hagiya H	Department of General Medicine	Effects of antibiotics administration on the incidence of wound infection in percutaneous dilatational tracheostomy	Acta Med Okayama 68: 57-62,2014
85	Kimura K	Department of General Medicine	Triangle sign on neck MRI	Intern Med 53: 1035-1036,2014
86	Hagiya H	Department of General Medicine	A case of vascular graft infection caused by Staphylococcus lugdunensis after femoropopliteal bypass operation	Acta Med Okayama 68:171-175,2014

小計 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(8 / 11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
87	Hagiya H	Department of General Medicine	Mycotic abdominal aortic aneurysm caused by Campylobacter fetus: a case report and literature review	Ann Vasc Surg 28:e7-e14,2014
88	Hagiya H	Department of General Medicine	Recurrent Stenotrophomonas maltophilia Bacteremia after Iliac Crest Bone Graft Harvest	Intern Med 53: 1693-1698,2014
89	Hagiya H	Department of General Medicine	Epiglottic aphthous ulcers	Intern Med 53: 1731,2014
90	Hagiya H	Department of General Medicine	Successful treatment of persistent MRSA bacteremia using high-dose daptomycin combined with rifampicin.	Intern Med 53: 2159-2163,2014
91	Hagiya H	Department of General Medicine	Calcium oxalate crystals in the lungs	Intern Med 53: 2025-2026,2014
92	Hagiya H	Department of General Medicine	Filarial chyluria as a rare cause of urinary retention	Intern Med 53: 2001-2005,2014
93	Hagiya H	Department of General Medicine	Fosfomycin for the treatment of prostate infection.	Intern Med 53: 2643-2646,2014
94	Hagiya H	Department of General Medicine	Ceftriaxone-induced Biliary Sludge in a Patient with Uncontrolled Diabetes	Intern Med 53: 2549-2550,2014
95	Iwamuro M	Department of Molecular Hepatology	Magnified endoscopic features of duodenal follicular lymphoma and other whitish lesions	Acta Med Okayama 69: 37-44,2015
96	Iwamuro M	Department of General Medicine	Ectopic pancreas in the stomach successfully resected by endoscopic submucosal dissection	Case Reports in Medicine 2015: 147927
97	Hagiya H	Department of General Medicine	Myopathy and eosinophilic pneumonia coincidentally induced by treatment with daptomycin.	Intern Med 54:525-529,2015
98	Yumoto T	Advanced Emergency and Critical Care Medical Center	Septic shock due to Aeromonas hydrophila bacteremia in a patient with alcoholic liver cirrhosis: a case report	J Med Case Rep, 3(8):402, 2014
99	Yumoto T	Advanced Emergency and Critical Care Medical Center	Immediate screening method of predicting for massive transfusion in trauma patients: a retrospective single-center study	J Intensive Care, 2(1):54, 2014
100	Hirayama T	Department of Emergency and Critical Care Medicine	Mean lung pressure during adult high-frequency oscillatory ventilation: An experimental study using a lung model	Acta Med Okayama, 68(6):323-329, 2014

小計 14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(9 / 11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
101	Morisada S	Advanced Emergency and Critical Care Center	A new classification system for evaluating patients with severe trauma using B-type natriuretic peptide levels and estimated glomerular filtration rate ("Ugawa classification")	Acta Med Okayama, 68(5):285-290, 2014
102	Hoshika T	Department of Operative Dentistry	Effects of quaternary ammonium-methacrylates on the mechanical properties of unfilled resins.	Dent Mater. 2014 Nov;30(11):1213-23.
103	Izawa S	Department of Operative Dentistry	Induction of ES cells from Human Bone Marrow Mesenchymal Stem Cells: Epigenetic Control and Initialization of the Cells.	Journal of Oral Tissue Engineering (1348-9623)11(3) Page220-226(2014.03)
104	Ebinuma T	Department of Pathophysiology-Periodontal Science	Distribution of oral mucosal bacteria with mecA in patients undergoing hematopoietic cell transplantation.	Supportive Care in Cancer, 22(6):1679-1683, 2014
105	Shimoe M	Department of Pathophysiology - Periodontal Science	Overexpression of Smad2 inhibits proliferation of gingival epithelial cells.	J Periodontal Res, 49(3):290-298, 2014
106	Kudo C	Department of Periodontics and Endodontics	Oral infection control to assist infliximab therapy in a Behçet's disease patient with severe eye inflammation in response to dental treatment: a case report.	Clinical Case Reports, 2(6):274-280, 2014
107	Omori K	Department of Pathophysiology-Periodontal Science	Gingival overgrowth caused by vitamin C deficiency associated with metabolic syndrome and severe periodontal infection: A case report.	Clinical Case Reports, 2(6):286-295, 2014
108	Kudo C	Department of Pathophysiology-Periodontal Science	Analysis of the relationship between periodontal disease and atherosclerosis within a local clinical system: a cross-sectional observational pilot study.	Odontology. 2014 Aug 14. [Epub ahead of print]
109	Yamamoto T	Department of Pathophysiology-Periodontal Science	Osteogenic differentiation regulated by Rho-kinase in periodontal ligament cells.	Differentiation, 88:33-41, 2014
110	Minakuchi H	Department of Oral Rehabilitation and Regenerative Medicine	Comparison of platelet serotonin transporter activity in subjects with severe sleep bruxism and control.	Journal of Prosthodontic Research; 58(4):217-222, 2014.
111	Ono M	Department of Oral Rehabilitation and Regenerative Medicine	Efficient bone formation in swine socket-lift model using E. coli-derived rhBMP-2 adsorbed in β -TCP.	Cells Tissues Organs; 199(4): 249-255, 2014.
112	Oshima M	Department of Oral Rehabilitation and Regenerative Medicine	Whole Tooth Regenerative Therapy Using a Bioengineered Tooth Germ.	Current Oral Health Reports; 1(1): 43-49, 2014.
113	Oshima M	Department of Oral Rehabilitation and Regenerative Medicine	Functional tooth regenerative therapy: tooth tissue regeneration and whole-tooth replacement.	Odontology; 102(2):123-136, 2014.

小計 13件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(10 / 11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
114	Kawakami S	Department of Occlusal and Oral Functional Rehabilitation	A new posture measurement method for measuring intrinsic standing posture.	Cranio, 32:98-103,2014
115	Sakamoto S	Department of Occlusal and Oral Functional Rehabilitation	Effect of occlusal rehabilitation on spatial memory and hippocampal neurons after long-term loss of molars in rats.	Journal of Oral Rehabilitation, 41:715-722,2014
116	Kawakami S	Department of Occlusal and Oral Functional Rehabilitation	Specific diurnal EMG activity pattern observed in occlusal collapse patients: relationship between diurnal bruxism and tooth loss progression.	PLoS One, 9: e101882,2014
117	Kishimoto K	Department of Oral and Maxillofacial Surgery	Neamine inhibits oral cancer progression by suppressing angiogenin-mediated angiogenesis and cancer cell proliferation.	Anti Cancer Res, 34(5):2113-21. 2014
118	Tsuyoshi Shimo	Department of Oral and Maxillofacial Surgery	Expression and roles of CCN2 in dental mesenchymal cells in primary culture - with findings in a case of odontogenic myxofibroma	Oral Science International, 11:8-14, 2014
119	Konouchi H	Department of Oral and Maxillofacial Radiology	Diagnostic value of MR imaging for dentigerous cysts.	Oral Radiol. 2014, 30(1): 13-19.
120	Hara M	Department of Oral and Maxillofacial Radiology	A new phantom and empirical formula for apparent diffusion coefficient measurement by a 3 Tesla magnetic resonance imaging scanner.	Oncol Lett. 2014 Aug;8(2):819-824.
121	Asaumi J	Department of Oral and Maxillofacial Radiology	Optimal contouring of seminal vesicle for definitive radiotherapy of localized prostate cancer: comparison between EORTC prostate cancer radiotherapy guideline, RTOG0815 protocol and actual anatomy.	Radiat Oncol. 2014 Dec 20;9:288.
122	Matsuzaki H	Department of Oral Diagnosis and Dentomaxillofacial Radiology	Primary intraosseous squamous cell carcinoma of the maxilla possibly arising from an infected residual cyst: A case report.	Oncol Lett. 2015 Jan;9(1):131-135.
123	Unetsubo T	Department of Oral and Maxillofacial Radiology	High-dose-rate brachytherapy using molds for lip and oral cavity tumors.	Radiat Oncol. 2015 Apr 8;10:81
124	Yanagita T	Department of Orthodontics	Class II malocclusion with complex problems treated with a novel combination of lingual orthodontic appliances and lingual arches.	Am J Orthod Dentofacial Orthop 146(1):98-107,2014
125	Ishihara Y	Department of Orthodontics	Long-term stability of implant-anchored orthodontics in an adult patient with a Class II Division 2 malocclusion and a unilateral molar scissors-bite.	Am J Orthod Dentofacial Orthop 145(4 Suppl):S100-S113, 2014
126	Tomoyasu Y	Department of Dental Anesthesiology and Special Care Dentistry	Chronic orofacial pain in dental patients: retrospective investigation over 12 years.	Acta Med Okayama, 68: 269-275, 2014.

小計 13件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

(11 / 11)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
127	Yabuki A	Department of Dental Anesthesiology and Special Care Dentistry	Locally injected dexmedetomidine induces vasoconstriction via peripheral α -2A adrenoceptor subtype in guinea pigs.	Reg Anesth Pain Med, 39: 133-136, 2014.
128	Yamanaka R	Division of Hospital Dentistry, Central Clinical Department	Management of lacerated and swollen tongue after convulsive seizure with a mouth protector:interprofessional collaboration including dentists in intensive care.	Acta Med Okayama.68(6):375-378,2014

小計 2件

合計 128件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
~				

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 申請等の手順書, 実施計画書作成手順書, 同意説明文書作成手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 マネジメントポリシー, 委員会構成, 相談受付	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 7 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容 「PMDA薬事戦略と臨床研究中核拠点のMission」 「サンプルサイズ設計の理論と実際」 「コホート, ケースコントロール, RCTの研究デザイン」 「研究デザインのポイント」 「倫理審査をスムーズにうけるためのポイント, 倫理指針のポイント」 「臨床研究からレギュラトリーサイエンスへの展開」 「研究倫理指針はどう変わるか」 「わかりやすいプライバシーと個人情報」 等	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

初期研修を修了した医師・歯科医師に対し、指導医による指導のもと、入院患者・外来患者の診療、臨床研究及び症例検討会・関連学会等での発表を通して、高度な知識と医療技術の習得・開発に努めさせている。併せて、各学会による認定医・専門医等の資格を取得させることを目的としている。

また、地域において開業、勤務している医師・歯科医師を研修登録医として受け入れ、指導教員の指導のもと、最新の医療知識・医療技術の習得、患者の診療及び症例検討会への参加等により、高度な先端医療技術の体得に努めさせている。

2 研修の実績

研修医の人数	230人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大塚 文男	総合内科	科長	23年	
山本 和秀	消化器内科	科長	37年	
谷本 光音	血液・腫瘍内科	科長	39年	
木浦 勝行	呼吸器・アレルギー内科	科長	32年	
和田 淳	腎臓・糖尿病・内分泌内科 リウマチ・膠原病内科	科長	23年	
伊藤 浩	循環器内科	科長	32年	
阿部 康二	神経内科	科長	36年	
藤原 俊義	消化管外科	科長	30年	
八木 孝仁	肝・胆・膵外科	科長	32年	
三好 新一郎	呼吸器外科	科長	36年	
土井原 博義	乳腺・内分泌外科	科長	33年	
公文 裕巳	泌尿器科	科長	37年	
佐野 俊二	心臓血管外科	科長	38年	
野田 卓男	小児外科	科長	31年	
尾崎 敏文	整形外科	科長	28年	
木股 敬裕	形成外科	科長	31年	
岩月 啓氏	皮膚科	科長	37年	
白神 史雄	眼科	科長	35年	
西崎 和則	耳鼻咽喉科	科長	36年	
内富 庸介	精神科神経科	科長	31年	
伊達 勲	脳神経外科	科長	32年	
森松 博史	麻酔科蘇生科 集中治療部 周術期管理センター	科長 部長 センター長	21年	
塚原 宏一	小児科	科長	29年	
吉永 治美	小児神経科	科長代行	36年	
小田 慈	小児血液・腫瘍科	科長	39年	

岩崎 達雄	小児麻酔科	科長	24年
平松 祐司	産科婦人科	科長	38年
金澤 右	放射線科	科長	34年
氏家 良人	救急科	科長	40年
柳井 広之	病理診断科	科長	19年
千田 益生	総合リハビリテーション部	部長	32年
鳥井 康弘	総合歯科	科長	33年
吉山 昌宏	むし歯科	科長	31年
高柴 正悟	歯周科	科長	27年
窪木 拓男	クラウンブリッジ補綴科	科長	29年
皆木 省吾	咬合・義歯補綴科	科長	37年
飯田 征二	口腔外科（再建系）	科長	29年
佐々木 朗	口腔外科（病態系）	科長	34年
浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科	科長	31年
宮脇 卓也	歯科麻酔科	科長	27年
上岡 寛	矯正歯科	科長	26年
森田 学	予防歯科	科長	29年
仲野 道代	小児歯科	科長	22年
曾我 賢彦	医療支援歯科治療部	副部長	16年
江草 正彦	スペシャルニーズ歯科センター	センター長	27年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

院内において専門領域等に関する研修を実施しているほか、外部機関が主催する研修会等に参加させる体制を整えている。

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

各部署、チーム等において、多職種の連携によるチーム医療を行う上で必要となる専門領域等に関する症例検討、勉強会等により研修を行っている。

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 榎野 博史
管理担当者氏名	医療情報部長 合地 明, 放射線部長 金澤 右, 医療安全管理部長・感染制御部長・医療機器安全管理室長 岩月 啓氏, 薬剤部長 千堂 年昭, 看護部長 前川 珠木, 病院長室長 藤原 浩一, 総務課長 山口 太司, 医事課長 木村 勝弘, 各科診療科長・中央診療施設長

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録			カルテ等病歴資料は、外来・入院別に1患者1ファイル方式で、エックス線写真は、1患者1ファイル方式で保管している。 なお、カルテ等病歴資料はコンピュータによる集中管理を行っている。 また、診療録の病院外への持ち出しは、禁止している。
病院日誌		総務課	
各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科・中央診療施設 医療情報部 医事課	
処方せん		薬剤部	
エックス線写真		放射線部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	病院長室	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の第一項各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課 医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課 医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部 医事課 総務課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室 医療安全管理部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 榎野 博史	
閲覧担当者氏名	病院長室長 藤原 浩一, 医事課長 木村 勝弘	
閲覧の求めに応じる場所	小会議室	
閲覧の手続の概要		
閲覧の希望がある場合は、学内及び院内で定める情報公開に関する規定に基づき、以下のとおり手続きを行う。 ① 開示請求の受付 ② 開示等の検討 ③ 開示等の決定・通知 ④ 開示の実施		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">安全管理に関する基本的な考え方医療事故発生時の対応方法各部門ごとの安全管理マニュアル患者からの相談への対応に関する基本方針 他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療事故の防止及びその対策に関する事医療事故防止マニュアルの作成に関する事医療事故防止の教育・研修に関する事その他医療事故の防止に関する事	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">「心肺蘇生法」「麻薬・毒薬・向精神薬の管理と紛失、盗難時の対応」「法制化された医療事故調査制度の実施に向けて」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (①・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">マニュアルの整備インシデントレポートシステムリスクマネジャーの配置医療事故等調査委員会医療安全管理者の巡視による改善策実施状況の確認	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	① (4 名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	① (1 名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	①・無
<ul style="list-style-type: none">所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (1 6) 名活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療事故防止委員会の運営に関する事医療事故防止対策の立案に関する事医療事故・ニアミス報告の分析に関する事リスクマネジャーとの連絡調整に関する事安全管理に関する教育・研修の企画運営に関する事医療事故相談に関する事その他医療事故の防止、医療の安全性の向上・医療の質の向上に関する事	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	①・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	①・無
<p>・ 指針の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none">1) 院内感染対策に関する基本的な考え方2) 委員会について3) 感染制御部の業務内容4) 院内感染対策のための職員教育及び研修5) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針6) 院内感染発症時の対応に関する基本方針7) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針8) その他当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 4 8 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 感染予防対策委員会 1回/月 合計12回・ リスクマネジャー会議 (この中でICT全体会議と医療安全会議を行う) 1回/月 合計12回・ 感染制御部職員会議 1回/月 合計12回 <p>以上 3 委員会は、それぞれ連携して以下の活動をする。</p> <ol style="list-style-type: none">① 耐性菌サーベイランス、侵襲的処置別感染症サーベイランス② 感染予防対策立案と指導、マニュアルの管理③ 抗菌薬使用の管理④ ICT (リスクマネジャーがICTメンバーを兼ねる) との連携⑤ 重症感染症、特殊感染症の診断及び治療に関するコンサルテーション⑥ 感染予防対策に関する教育及び研修の企画運営⑦ 針刺し、体液汚染事故に関するサーベイランスと事故への対応及び予防対策の立案指導⑧ その他医療従事者の感染予防と発症時の指導 (結核、流行性疾患など)⑨ 医療廃棄物の取り扱いの管理と指導、環境整備に関する管理と指導⑩ その他の感染予防対策上の問題への関与 <ul style="list-style-type: none">・ 看護部感染対策委員会 1回/月 合計12回手指衛生のコンプライアンスの測定と改善感染防止の視点からの看護手順の作成環境整備の状況把握と指導	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 全職員対象院内感染対策講習会 3回/年 (①は同じ内容で2回, ②③は1回, 計4回)<ol style="list-style-type: none">① 針刺し事故防止について、結核の院内感染予防とトリージ診療, スタガードプロシジョン② エボラ出血熱について③ 小児ウイルス疾患とワクチン2) 新規採用者研修 1回3) 感染対策地域連携講演会「ウイルス疾患とワクチン」 1回4) 主に看護師対象感染防止技術研修会 10回 (内容) 感染予防対策に関する基本的な事項, Device関連の感染予防策, 流行性疾患対策など5) 抗菌薬使用に関する勉強会 1回	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ その年のスローガンを決め、強化をする。 <p>平成 2 6 年度は、ラウンドの強化！抗菌薬管理の強化をスローガンとし、病棟ラウンドの強化を図った。</p>	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容： 平成 26 年 4 月 新規採用職員オリエンテーション -医療事故防止について(薬剤部) -	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有)・無) ・ 業務の主な内容： ・ 医薬品の採用・購入に関すること ・ 医薬品の管理に関すること (麻薬を含む。) ・ 投薬指示・調剤に関すること ・ 患者への薬学的管理業務に関すること ・ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関すること ・ 他施設 (病院, 薬局等) との連携に関すること ・ 病棟における医薬品の管理に関すること 実施状況については、業務手順書に基づき、各担当部署においてチェックリストを作成し、定期的 (月1回程度) に実施状況の確認を行った。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 毎月、業務手順書に基づき、薬品情報室にて収集した情報を、情報誌 (DI News) に掲載し、各診療科、中央診療施設、看護部に配布し情報提供を行っている。 また、安全性情報はmailにて配信しており、特に重篤な情報は処方医宛に配信している。	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	① 有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年142回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 定期研修<ul style="list-style-type: none">1. 人工心肺装置：体外循環装置の安全に関わる講習会の受講(学会主催のもの)2. 人工呼吸器：機器の取り扱いと注意事項について3. 血液浄化装置： 同 上4. 除細動装置： 同 上5. 閉鎖式保育器： 同 上6. MRI装置の安全性7. X線撮影装置の安全管理8. 放射線治療装置の安全管理9. RALS緊急時マニュアル(医師, 診療放射線技師, 看護師対象)10. 密封小線源療法(診療放射線技師対象)・ 新しい医療機器導入時の研修<ul style="list-style-type: none">1. AED：機器の取り扱い説明	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	③ 有 ・ 無
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 栄養ポンプ「Sys」エラーへの対応・ IABP主電源OFF事例への対応	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	① 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構による病院機能評価：平成27年1月受審 平成27年4月認定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	① 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ・ホームページ及び定例記者発表等を通じての情報発信 ・市民等を対象とした公開講座等の開催	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	① 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ・複数の診療科で構成する中央診療施設の設置 ・診療科等の連携によるセンターの設置 ・複数の診療科, 医師, 技師, 看護師などによる治療チームの設置	